

# 埼玉佛教

令和2年1月 第221号

令和2年1月6日 発行  
 No.221  
 〒330-0063  
 さいたま市浦和区高砂4-13-18  
 一般財団法人 埼玉県佛教会  
 電話 (048) 861-2138  
 FAX (048) 864-6649  
 発行人 倉持 秀裕  
<http://saibutu.net>  
 印刷所 関東図書株式会社



第41回 県佛大会「上口 里神楽」

## 目次

新年挨拶	2
宗教法人研修会	2
第12回仏教文化講座(予告)	3
第41回埼玉県佛教徒大会	4
義援福祉募金報告	5
特殊詐欺撲滅会議	5
令和元年度第1回執行部会	5
令和元年度	5
第2回理事会・役員懇親会	5
歳末助け合い募金	6
地区仏教会だより	6
鴻巣市仏教会	6
浦和仏教会	6
本庄市佛教会	7
越生・毛呂山仏教会	8
トビックス	8
「埼玉県宗教連盟」	9
令和元年度 埼玉連研修旅行	9
「埼玉同宗連」	9
「現地学習会」	9
「第39回埼玉人権フォーラム」	10
「人権埼玉実行委員会」	10
「第20回県知事・県議会議長要請行動」	10
「解放同盟埼玉県連合会」	10
「狭山事件の再審を求める市民集会」	10
年賀名刺広告	11
埼玉県佛教幼児西展(予告)	11
訃報	12
事務局日誌	12
編集後記	12



## 新年挨拶

一般財団法人埼玉県佛教会

会長 倉持 秀裕



謹んで初春のお祝いを申し上げます。平素は本会事業にご理解とご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。昨年は本会二大行事であります、埼玉県各流讃佛歌奉詠大会（9月30日・埼玉会館）、ならびに埼玉県佛教徒大会（10月16日・三郷市文化会館大ホール）を盛大に開催する事ができました。篤く御礼申し上げます。

さて昨年は、台風や豪雨により、本県や近隣地域でも大きな被害ができました。長野では千曲

川が氾濫し大きな被害を及ぼしました。自然の猛威を身近に感じ、災害に対する備えや防災の大切さを改めて考えさせられました。これらの災害の犠牲になられた方々のご冥福と被災地の早期復興をお祈りいたします。

国内の事件、事故では、罪のない人々が殺傷された京都アニメーション放火事件が社会に大きな衝撃をあたえました。また、子供を含む歩行者を巻き込んだ、心を痛める車両事故が発生しております。海外では、香港における反政府抗議デモの激化や銃を使用した殺傷事件、テロによる無差別殺人など後を絶ちませんが、残念な話題が先行しがちですが、ラグビーW杯の日本開催では多くの国から賛辞をいただいたと聞き及んでおります。スポーツ界での若い力の活躍など明るい話題も多くありました。

本年は東京を舞台に五輪が開催されます。マラソンの開催地

の変更など紆余曲折がありましたが、ホスト国として各国の選手や応援者をオモテナシの精神で暖かく迎え入れることが出来ると信じております。本県でも数種目の競技が開催されますので、非常に楽しみにしております。

令和という新しい時代を迎え、多様化の世は混沌となってきました。我々宗教者が果たす役割はより一層意義の大きいものとなります。釈尊の教えを基により良い社会を造る一助を担えればと強く願います。

結びに皆様方の今年一年のご多幸と寺門興隆を祈念し新年の挨拶といたします。

合掌



### 令和元年度 宗教法人研修会 13:30~16:00

- (1) 埼玉県における基本的な事務手続きについて (45分)
- (2) 宗教法人にできる地域の防犯活動 (70分)

- 令和2年2月6日 (木) さいたま会場 埼玉会館1階 多目的ホール
- 令和2年2月10日 (月) 熊谷会場 熊谷地方庁舎4階 大会議室

お問い合わせ先 埼玉県総務部学事課 総務・宗教法人担当 岸

電話 048-830-2568

## 第12回 埼玉佛教文化講座

入場無料  
・  
要参加申込

《開催》 令和2年2月13日(木)

開場：14時00分、開会：14時30分、閉会：16時30分〈予定〉

会場：埼玉会館・会議室〔さいたま市浦和区高砂4-13-18〕

精進料理を通じた布教をめざすとして、自坊での精進料理会も定期的で開催し、大好評の神奈川県福昌寺（天台宗）副住職 飯沼康祐師をお迎えし、心もカラダもきれいになる精進料理を学び、楽しみましょう。



《演題》「精進料理を学ぼう」

～イタリアンからお粥まで・お寺ご飯～

《講師》 イイヌマ コウユウ  
飯沼 康祐 師

～神奈川県 福昌寺（天台宗） 副住職

■お申込方法…開催案内ちらし裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。〔FAX 048-864-6649〕

参加申込書は当会のホームページ（[www.saibutu.net](http://www.saibutu.net)）に開催案内ならびに参加申込書を掲載しておりますのでダウンロードの上、事前アンケートを含む（必要事項）をご記入の上、FAXにてお申込ください。また、参加申込書は、埼玉会館2階事務局にもあります。

※お申込が定員（80名）に達し次第、受付を終了いたします。予めご了承ください。

※開催日が近くなりましたら「参加確認証」をお送りいたします。

# 第41回埼玉県佛教徒大会

令和元年10月16日(水)、三郷

市文化会館大ホールにおいて第41回埼玉県佛教徒大会が開催された。今大会は三郷市佛教会(内田弘明会長)が主管となり、埼玉県東部地区仏教会が後援した。

大会テーマは『新しい時代

変わらぬ教え ー永久に変わらぬ釈尊の教えー』で参加者は県内外各地から約600名。大会の総合司会は、石井秀誉師(延



命院・豊山)が務めた。

内田弘明会長の開会のことばより開会。新和幼稚園の園児による献灯献花、続いて法楽が厳修され、深谷雅良専務理事が主催者あいさつを行った。続く来賓あいさつでは、全日本仏教会事務総長の戸松義晴師、三郷市の木津雅晟市長からごあいさついただいた。

記念講演では、講師に新潟県



燕市より真言宗豊山派本覚院住職の澁谷隆阿師を迎え節談説教『釈尊御一代記』

と題し、ご講演いただいた。節談説教は落語・講談・浪曲などの高座芸能の源流といわれ、七五調の秀麗な言葉にリズムミ

カルな節をつけ、洗練された美声と身振り手振りをもって、演技的表現をとりながら、聴衆の感覚に訴える、詩的・劇的な「情熱の説教」で、今回はお釈迦様の御生涯や説話を朗々と語られた。さらに副住職の快阿師が太鼓演奏で講演を盛り上げた。

第二部のアトラクションでは上口二郷半囃子里神楽保存会による「上口 里神楽」が上演された。上口里神楽は、氏子の安全や疫病退散、五穀豊穰を祈願し、毎年7月第2土曜日に上口香取神社で行われる祭礼の余興として披露されている。江戸時



代より引き継がれており、三郷市無形民俗文化財に指定されている。笛や太鼓などの楽器を演奏する囃子とともに、里神楽と称する神楽が行われている。

今年の第42回埼玉県佛教徒大会は埼玉県西部地区仏教会が担当となり、越生・毛呂山佛教会の主管により開催される予定となっている。閉会行事で三郷市佛教会長の内田弘明師から、越生・毛呂山佛教会会長の渋谷辨洋師へ佛旗バトンが手渡された。大会の結びに、三郷市佛教会の小阪秀史大会副実行委員長から謝辞が述べられ閉会となった。

『県佛大会義援福祉募金報告』

第41回埼玉県佛教徒大会の開催当日、参加の皆さまからお預かりした義援福祉募金の合計金額は420,994円になった。募金は三郷市佛教会から、三郷市社会福祉協議会へ寄託し、社会福祉事業に役立てていただく。

特殊詐欺撲滅会議

令和元年12月3日(火)、さいたま市プリムローズ有朋にて、埼玉県特殊詐欺撲滅官民会議が行われた。当会からは大塚書記が参加。

会議では、県内の特殊詐欺の発生状況や行政、企業などの特殊詐欺防止に向けた取り組みなどが発表された。令和元年10月現在、キャッシュカード詐欺が多発しており、警察官、家電量販店をかたり、キャッシュカードをだまし取る、またはすりか

えるといった巧妙な手段が増えてくる。

留守番電話機能や防犯機能付き電話機などを使い、犯人と直接話をしないことが一番の

防止策とのことである。日頃から、家族や身近な人との間で気軽に相談できる関係づくりも重要である。

また、重点取組事項として、「被害に遭っていきそうな高齢者への声かけ」と「不審者を見かけたらずぐ通報」があげられた。

YouTubeの埼玉県警察公式チャンネルでは、特殊詐欺対策の動画を見ることができる。

特殊詐欺手口別認知状況

認知区分	令和元年10月末					
	件数	既遂	未遂	前年比	被害金額	前年比
特殊詐欺	1,021	942	79	-96	172,679万円	-18,611万円
オレオレ	755	678	77	-76	107,991万円	-33,401万円
架空請求	120	118	2	-43	34,804万円	1,317万円
融資保証金	13	13	0	2	7,813万円	5,241万円
還付金等	132	132	0	24	15,291万円	2,575万円
その他の特殊詐欺	1	1	0	-3	6,779万円	5,656万円
窃盗(職権盗)	170	167	3	56	23,853万円	7,901万円
総数	1,191	1,109	82	-40	196,533万円	-10,709万円

注) 認知件数の前年比は総数の対比を示す。被害金額には、キャッシュカード手交型において不正に引き出された金額を含む。一万円未満切り捨て。

令和元年度第1回執行部会

令和元年11月29日(金)、10時30分から埼玉佛会館において、『令和元年度第1回執行部会』が開催された。

会議では県内の台風被害について事務局が県内各寺院の被害状況の報告を行い、今後の対応について検討、また令和2・3

年度の役員改選について確認がなされた。



令和元年度第2回理事会・役員懇親会

令和元年12月13日(金)、15時から埼玉佛会館において、『令和元年度第2回理事会』が開催された。

会議では、県内の台風被害について、令和2・3年度の役員改選について確認がなされた。さらに、会場を移し、役員懇親会が開催され親睦を深めた。

### 歳末助け合い募金

去る令和元年12月13日(金)、

埼玉佛会館において、歳末助け合い募金として60万円を埼玉県共同募金会に寄託しました。なお、その内の50万円は更生保護施設清心寮に指定寄附をしました。

会員寺院の皆さまにご協力をいただいております「埼玉県佛教徒募金」から毎年、寄託しています。



### 地区仏教会だより

#### 第20回わかる仏教講演会

#### 鴻巣市仏教会

令和元年11月13日(水)、鴻巣市仏教会(岡田正信会長)は鴻巣地区仏教研究会(文屋晋吾会長)との共催により、クレアここのす大ホールにおいて、「第20回わかる仏教講演会」を開催した。参加者約700名。この講演会は隔年で開催され、当日は講演会を心待ちにした参加者で会場は盛況であった。事務局から金子事務局長、大塚が参加した。開会行事では法楽、大会会長挨拶、来賓挨拶、来賓紹介が行われた。

第1部では、鴻巣市観光大使を務める平山八重氏による語り部、「海士あまの物語」が披露され、津軽三味線奏者の清水まなみ氏

による三味線の音色が物語を盛り上げていた。哀愁漂う語りと臨場感あふれる津軽三味線は、心にしみいるようだった。



第2部の講演会は、和歌山県より画僧、牧宥恵師をお迎えし、「心をほぐす画僧のしごと」と題して、講演された。

90分間の講演は、笑いの連続で観客を飽きさせることなく、ステージに用意された大きな半紙にお地藏さんの絵を描き、「だいじょうぶ、だいじょうぶ」とひとことを書き加えると、たち



はぐす  
まは観客の心をほぐした。そして心あたたまる法話に、参加者は元気をもらっていた。

講演後に講師へ謝辞と記念品贈呈が行われ、閉会となった。

### 研修旅行

#### 浦和仏教会

浦和仏教会(吉田英夫会長)は11月18・19日で研修旅行を行った。参加者は11名。7時30



分、浦和駅東口からバスは出発、目的地である長野へ。雨が心配されたが第1の予定地の諏訪大社上社に到着した際には、晴天となり、暑くもなく寒くもなく幸先良しのスタートとなった。上社を後にし昼食会場へ、食後、休憩時間を利用し、徒歩5分の諏訪神社下社を参拝したり、食事処にあつた足湯を楽しむ者も。午後は宮坂製糸所を見学、現在も製糸作業が行われており、作業も見学した。作業エリアでは



繭を茹でる際に放つ独特の匂いが。製糸所のあとは松本城へ。天守が現存している12城の一つである松本城。決して大きなお城ではないが、お堀の水面に浮かぶ姿は、歴史を感じさせる佇まいで圧倒された。城内の造りや天井の高さ、階段の傾斜など、大変興味深く見学ができた。松本城を後に美ヶ原温泉へ。宿に到着し、休憩の後、懇親会を行った。

二日目は、善光寺を参拝。仲見世や寺町を見学した。全国的に有名な寺院ということ

で、外国人観光客の姿も多く見受けられた。次に戸隠に移動。昼食に名物のそばを食べた。戸隠神社の近隣には多くの蕎麦屋が点在し、半盛りそば×4杯のチケットを購入し、各店の味を堪能するイベントなどで地域を盛り上げているよう(個人的には4店巡りしたかった...)。食後に見学した戸

隠神社は元修験道場で明治に神社になったとのこと。資料館では興味深い展示がされていたが、時間の都合上、さらっと眺める程度。なお、中社の鳥居前の蕎麦屋に行列が出来ており、非常に興味深く、満腹状態での発見による残念感は今も残っている。神社を後に帰路へ。途中、蓮田SAで某御住職に遭遇、世間は狭い。大した混雑もなく予定どおりに浦和に帰着。

本庄市佛教会では毎年秋、市内各宗派持ち回りで講師をお招きし、「仏のお話を聞く会」と称して、地域檀信徒の皆様方へ向けた講演会を行っております。今年も近隣神川町より、曹洞宗 幸春院御住職 吉竹智輝先生をお招きし、「宗教と日本人」という演題で約1時間に渡って御講演頂きました。

### 第29回「仏」のお話を聞く会

#### 本庄市佛教会

日本人は、宗教と昔からどのような付き合い方をしてきたのかというお話から始まり、宗教とは人としての生き方、幸せの在り方を教えてくれるものという命題を語られ。また舌切雀の寓話などを例え話として挙げ、そこから幸せとはその人の心を持ちよう、心の中に餓鬼心を持たず少欲知足をよく心がけるこ



とが大切である等、仏教の話に巧みに結びつけ、仏教を知らない方々にも分かりやすく、かみ砕いてお話ししました。

当日会場には約100名もの各寺院の檀信徒の方々が見えられ、熱心に、時には笑いを交えながら先生のお話を聞いておられたのが大変印象的でした。この「仏のお話を聞く会」はどなたでも参加自由で、初夏に本庄市佛教会で発行する機関紙「澄心」に開催期日、講師の紹介などが記載されますので、是非お

近くの方は足を向けて頂ければと存じます。

(報告／会計・吉田住心)

### 「十三仏について学ぶ」

#### 研修会

#### 越生・毛呂山仏教会

令和元年11月26日(火)、法恩寺(越生町・智山)において「十三仏について学ぶ」研修会が開催された。主催は越生・毛呂山仏教会(渋谷辨洋会長)、



参加者は12名。

今回は2回目の研修会であり、講師は昨年引き続き、高橋英心師(智山)が努め、100日忌の観音菩薩から33回忌の虚空蔵菩薩まで講演を頂いた。

高橋師は仏画師として繊細な仏画を描き、一方宗派を超えた僧侶と共に柴燈護摩を修行するなど、「仏」に対して常に真正面から向き合い、強い信念を持っている。講演は2時間を超える長丁場であったが、時間の経過を忘れる程集中しひたすら師の話に耳を傾けメモを取り続けた。

「十三仏」の信仰は人が亡くなった後に良いところに行つて欲しいという願いから始まる。死後に出家し修行で功德を積む、その手助けを「十三仏」が担っている。更に遺族が追善供養をすることで仏様のご加護を頂く事が出来るのである。そして「十三仏」の配列は理にかなつており、例えば100日忌の観音菩薩



薩は49日忌までの修行で受けた疲れを慈悲の心で癒し、善意の心で安心させる。一方仏様の優しさに甘え修行に集中出来なくなる頃に7回忌の阿闍如来が現れ、無瞋意・無怒の心、そして強い決意をもって不動の精進を促す。更に33回忌は一般的に弔い上げ・最後の供養を指すが、無限にある智慧を持つ虚空蔵菩薩が悟りの世界が限りないことを示し、修行を継続させ自分だけでなく他者をも救う事を説く。



このように「十三仏」はそれぞれが役目を持って、時には優しく時には力強く導くのである。

高橋師は講演の締めくくりに「仏の誓願は衆生を救う事、その誓願を衆生に差し向け、仏のお陰にあることを伝える役目が僧侶にある。」と示された。先行きの見えない不安な現代社会で仏教に救いを求める人は多い。我々僧侶に与えられた責務が大きい事を改めて感じる研修会となった。

(報告 越生毛呂山仏教会

増尾 實道)

## トピックス

### 「埼玉県宗教連盟」

#### 令和元年度 埼玉連研修旅行

去る10月30・31日、令和元年度の埼玉連研修旅行が実施された。旅先は福岡。参加者44名。

当会からは深谷雅良専務理事、三浦清志師、大應寺職員(3名)、事務局から金子、本間が参加。今回は埼玉県神社庁が担当である。

30日朝、JR線の遅延があり心配されたが、全員が搭乗前に集合。一路、福岡空港へ。到着後、古賀にて昼食。昼食後に今回、唯一の正式参拝予定をしている宗像大社を参拝。通常の参拝者は入館できない勅使館で説明、お茶の接待があり、本殿に移動して正式参拝。神宝館で沖ノ島で出土された国宝などを見学。

場所を移し、次は宮地嶽神社へ移動。日本一といわれる、大注連縄、大太鼓、大鈴を見学しながらの参拝。嵐出演のCMのロケ地とのことで、参加者(特に女性)は写真撮影をして大喜び。参拝後、福岡市内へ。

宿泊先は中洲にあるホテル。懇親会は中洲の料理店に移動。博多名物の水炊きに舌鼓。中締

め後は各々が夜の博多を散策。

二日目は櫛田神社と竈門神社を参拝の後、太宰府天満宮へ。多くの人で賑わう天満宮を自由参拝後に境内の茶屋で昼食。昼食後、隣接している九州国立博物館を見学。三国志展が特別展示されており賑わっていた。見学後、最後の参拝場所である坂本八幡宮を参拝。想像より小さなお社で観光整備も途上と見受けられたが、令和(元号)発祥ゆかりの神社、多くの参拝者が

後を絶たない。

福岡空港から羽田空港へ。到着後に自由解散となった。

### 「埼玉同宗連」

#### 「現地学習会」

令和元年10月4日(金)、「埼玉同宗連」主催(齊藤実朗議長)の現地学習会が行われた。今年度はさいたま市浦和区大原にある埼玉県障害者交流センターを訪れた。参加者は各教宗派から12名。

副所長の上良弘氏から埼玉県社会福祉事業団と障害者交流センターに関する説明を受け、DVDを視聴した後、施設内の見学を行った。

施設は浦和レッズの大原サッカー場に隣接し、文化施設、スポーツ施設、図書館等が充実し、たくさんの人々が積極的に楽しんでる姿が印象的でした。



坂本八幡宮

## 「第39回埼玉人権フォーラム」

令和元年11月28日(木)、久喜総合文化会館で「第39回埼玉人権フォーラム」が集会テーマ「世界の人びとと共に人権運動の輪を広げ、平和と人権の21世紀を創造しよう」を掲げて開催された。「埼玉同宗連」からは約80名が参加し、全体としては解放同盟をはじめ行政、教員、企業を含めて約900名が参加した。全体会では、解放同盟埼玉県連書記長の小野寺一規氏が「日本における人権の現状と解放同盟の課題」と題して基調報告を行い、続いて、大阪市立大学人権問題研究センター・都市経営研究科教員の阿久澤麻理子氏が



天台宗人権

「部落差別とインターネット」と題して記念講演を行った。続いて埼玉県教育局市町村支援部人権教育課課長の阿部仁氏が「人権教育に関する実践指導資料」の活用を」と題して特別報告を行った。

午後は久喜市中央公民館に移動し、第2分科会「人権啓発活動の課題」において「埼玉同宗連」副議長の光栄澄人師(天台宗)から「天台宗の人権啓発の取り組みについて」の報告がなされた。また、浄土真宗本願寺派の藤井壽雄師(元「埼玉同宗連」議長)が助言者を務めた。

## 「人権埼玉実行委員会」

### 「第20回県知事・

### 県議会議長要請行動」

令和元年10月25日(金)、部落解放・人権政策確立要求埼玉県実行委員会(略称・人権埼玉実行委員会)(倉持秀裕会長)は、「第

20回知事要請行動」を県議会議長室および県知事公館で実施した。午前11時から知事公館で行われた要請行動では要請団を代表して本会の秀裕会長が代表者あいさつを行い、「部落差別解消推進法が制定されて3年が経過するが、未だに根強い差別が存在し、差別解消の道は遠のいている。来年オリンピックが開催されるが、人権教育、啓発推進の必要性を痛感している。要望書に沿って人権が尊重された住みよい社会を作って頂きたい」と述べ、大野元裕知事に要望書を手渡した。最後に、「埼玉同宗連」議長の齊藤実朗師の閉会あいさつで行動を閉じた。

## 「解放同盟埼玉県連合会」

### 「狭山事件の再審を

### 求める市民集会」

令和元年10月31日(木)、13時から日比谷野外音楽堂で行われた狭山事件の再審を求める市民



集会に「埼玉同宗連」から副議長の春日英明師、相談役の藤井壽雄師、前副議長の廣田賢也師が参加した。全体集会に先立って、埼玉県の独自集会が行われ、再審勝利に向けて意思統一を図った。集会には全国から石川一雄さんの支援者約2,800名が集まり、ミニコンサート、主催者挨拶、再審請求人の石川一雄さん・早智子夫人によるアピール、弁護団報告、基調提案、連帯アピール、市民の会アピールなどが90分にわたって行われた。続いて再審を求めて日比谷公園西幸門内幸町く数寄屋橋く東京駅八重洲口前く常盤橋公園までの約3キロを約1時間かけてデモ行進した。

<p>(一財)埼玉県佛教会 副会長 糸原恒久 自坊 蓮馨寺 〒350-0066 川越市連雀町七番地一 電話 〇四九一―二二一〇〇四三 ファックス 〇四九一―二二六〇六七六</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 副会長 本庄市 城立寺住職 加藤玄静 〒367-0052 本庄市銀座3―4―7</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 会長 真言宗智山派 三学院住職 倉持秀裕 〒335-0001 蕨市北町3―2―4 電話 048―4443―2125 FAX 048―4443―2544</p>	<p>謹賀新年 本年もよろしく お願い申し上げます 合掌 </p>
<p>(一財)埼玉県佛教会 常務理事 住職 馬場知行 鴻巣市箕田二〇三四 TEL 〇四八―五九六―〇七二九 FAX 〇四八―五九六―七七二四</p>	<p>宗教法人 東泉寺 代表役員 (一財)埼玉県佛教会 常務理事 河野亮玄 〒330-0044 さいたま市浦和区瀬ヶ崎一―一五―三 TEL 〇四八―八八六―五二二四 FAX 〇四八―八八六―四一五一 HP <a href="http://www.urawa-tozenji.com/">http://www.urawa-tozenji.com/</a></p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 常務理事 山口正純 〒334-0057 埼玉県川口市安行原二〇〇八 (宗)密蔵院代表役員</p>	<p>(一財)埼玉県佛教会 専務理事 水光山大應寺 住職 深谷雅良 〒354-0011 埼玉県富士見市水子一、七六五 TEL 〇四九一―五一一五六一一 FAX 〇四九一―五一一五六〇一</p>
<p>(一財)埼玉県佛教会 理事 曹洞宗 金澤寺 住職 宮寺守正 〒350-0305 比企郡鳩山町泉井二二七六 電話 〇四九二―九二〇三三七二二 <a href="http://kontakuji.com">http://kontakuji.com</a></p>	<p>親鸞聖人旧跡 浄土真宗本願寺派 楠井山 清浄寺 住職 藤井壽雄 〒342-0045 埼玉県吉川市木元二―二〇―一五 電話 〇四八〇―九八一―一六〇〇〇 FAX 〇四八〇―九八一―一六〇八〇 JR武蔵野線「吉川」駅南口三分</p>	<p>真言宗豊山派 観照院 〒343-0851 越谷市七左町七―二七八 TEL 〇四八―九六二―一五六九五 FAX 〇四八―九六二―一五六九六 住職 鷺津憲道</p>	<p>坂東十二番札所 玄奘三蔵法師霊骨奉安 天台宗 慈恩寺 住職 大嶋法道 〒339-0009 さいたま市岩槻区慈恩寺一三九 電話 〇四八 七九四―一三五四 FAX 〇四八 七九四―一三〇七四</p>
<p>埼玉県佛教保育協会 第35回埼玉県佛教幼児画展 《日時》 令和2年2月1日(土) 13時～17時 2月2日(日) 10時～16時 《場所》 さいたま市文化センター・展示室 [南区根岸1-7-1] ※入場自由</p>			<p>(一財)埼玉県佛教会 理事 天台宗 慶福寺 住職 関口亮樹 〒349-0115 蓮田市蓮田四―一〇―四 電話 〇四八(七六八)一五三七 FAX 〇四八(七六八)二二二八</p>

訃報

お悔やみ申し上げます。

令和元年 7月

17日 さいたま市浄広寺(本願)

河津 喜代子(104歳)

令和元年 8月

18日 鴻巣市龍昌寺(曹洞)

山崎 孝雄(87歳)

令和元年 10月

3日 行田市神仙寺(曹洞)

齋藤 征良 師(76歳)

14日 飯能市廣渡寺(曹洞)

平山 良映 師(99歳)

17日 飯能市浄心寺(曹洞)

山影 裕昭 師(91歳)

元・代議員

20日 飯能市法光寺(曹洞)

大野 文雄 師(89歳)

元・代議員

令和元年 12月

3日 深谷市東光寺(豊山)

福本 宜快 師(74歳)

事務局日誌



令和元年 10月

3日▼「埼玉青」写仏

4日▼「埼玉同宗連」現地学習会

(埼玉県障害者交流セン

ター/金子事務局長、永堀

15日▼県佛大会前日準備

16日▼第41回埼玉県佛教徒大会

(三郷市文化会館)

25日▼「人権埼玉」埼玉県への

要請行動(県議会議長室、

知事公館・倉持会長、深

谷専務)

30日▼埼玉県宗教連盟 研修旅

行(福岡県・金子事務局

長、本間主事補/31日)

30日▼部落解放・人権政策確立

要求第2次中央集会

(ニッショーホール・大

塚)

29日▼執行部会(埼玉会館)

令和元年 12月

3日▼埼玉県特殊詐欺撲滅官民

合同会議(浦和・プリム

ローズ有朋/大塚)

13日▼第2回理事会(埼玉会館)

19日▼「埼玉青」写仏

27日▼仕事納め

編集後記

特殊詐欺被害を伝えるニュースが後を絶たない。たとえ手口を知っていたとしても、犯人と電話で話すと、うっかりその話を信じてしまうらしい。被害防止には、犯人からの電話をシャットアウトすることが一番有効だ。身近な人が被害に遭うことのないよう、気をつけたい。



28日▼埼玉人権フォーラム(久喜総合文化会館/金子事務局長、永堀、大塚)

